



B-8

Wireless System

クイックスタートガイド

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。



- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。



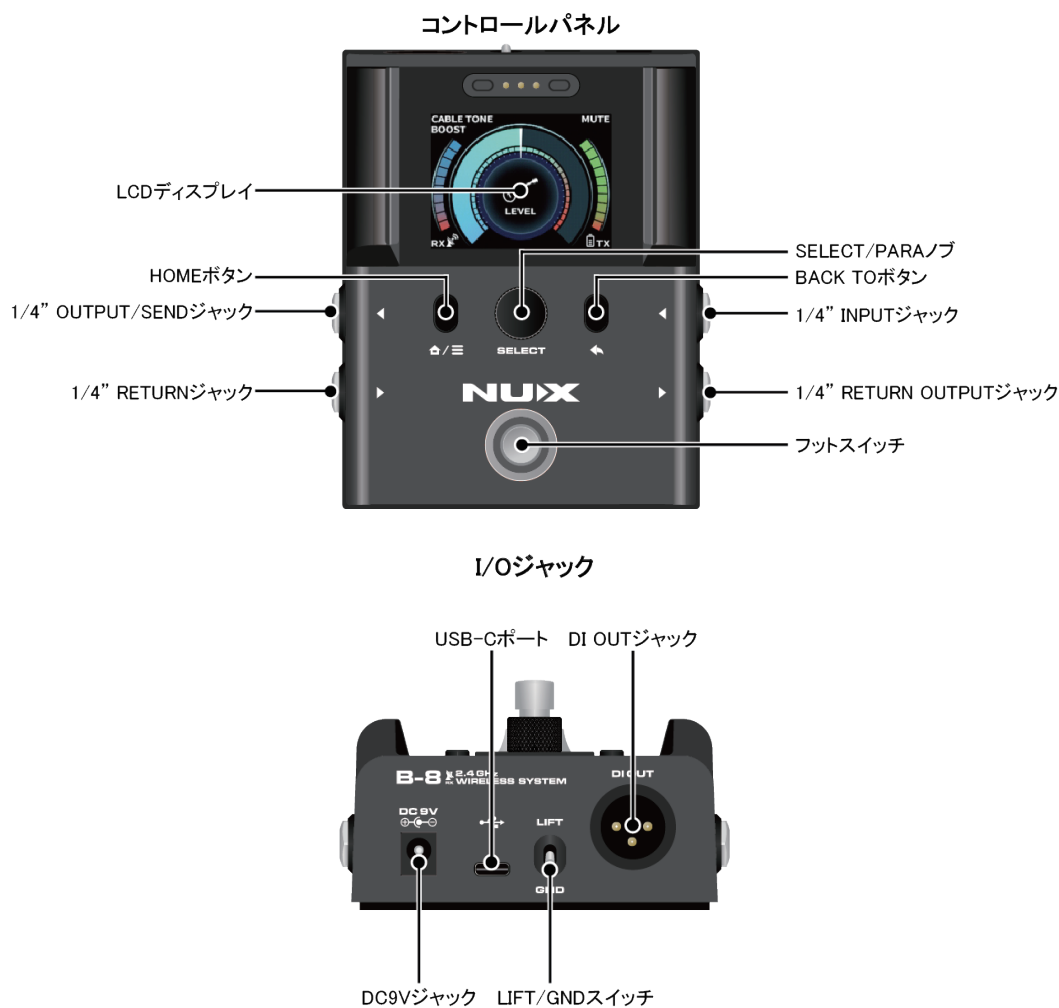
- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

コントロールパネル&I/O ジャック

■ TX(トランスミッター)



■ RX(レシーバー)



B-8 を使い始める

B-8 は工場出荷時に予めペアリングが行われています。

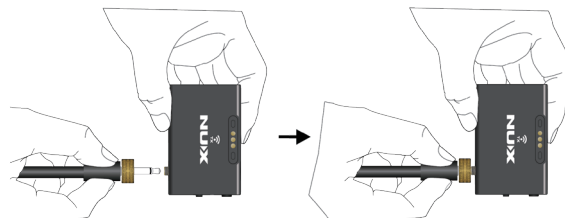
マッチングはとても簡単で、RX(レシーバー) と TX(トランスミッター) の電源を入れるだけです。

RX と TX は自動的にお互いを検知し、安定した接続を確立できる最適なチャンネルを選択してくれます。

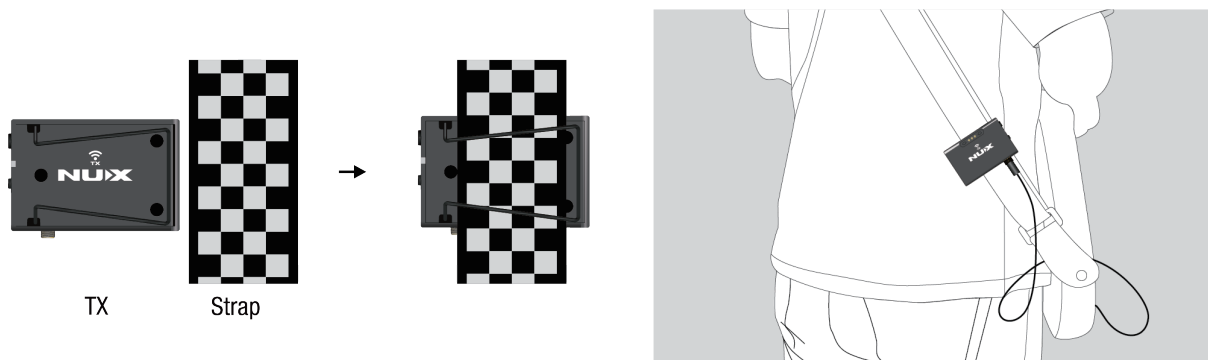
1. POWER ON/OFF スイッチを長押しし、TX の電源を入れます。
2. RX に電源アダプターを接続し、電源を入れます。
3. 数秒待つとデバイス同士が自動的にペアリングされます。



4. 付属ケーブルの 1/4"(6.35mm) プラグを楽器へ接続し、逆サイドを TX の 1/8"INPUT ジャックへ接続し、ナットを回して TX に固定してください。



5. TX をストラップへ装着します。



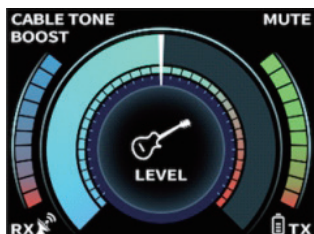
6. RX の OUTPUT をアンプやペダルボードなどに接続してください。
7. これで B-8 を使用する準備は完了です。演奏をお楽しみください。

各種機能について

B-8 には演奏を快適にするために様々な機能が備わっています。

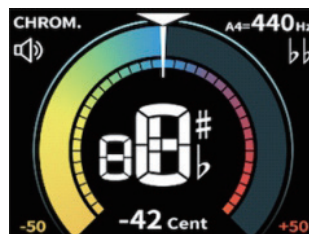
■ RX ディスプレイ

通常画面



- ・信号入力レベル
 - ・電波強度
 - ・TX バッテリー残量
 - ・CABLE TONE ON/OFF*
 - ・BOOST ON/OFF*
 - ・MUTE ON/OFF*
- などの情報が表示されます。

チューニング画面



- ・チューニングメーター
 - ・ノート
 - ・チューニングモード
 - ・リファレンスピッチ
 - ・モード
 - ・バイパスモード
- などの情報が表示されます。

*OFF の場合は、文字がグレイアウトします。

■ CABLE TONE&MUTE



CABLE TONE スイッチを ON にすると、“ケーブルトーンシミュレーション”が ON になり、通常のケーブルを使用したときのようなウォームなサウンドを得ることができます。



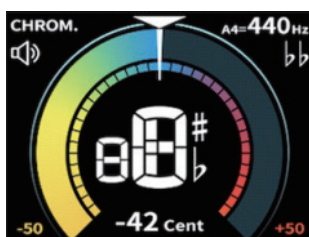
TX の電源が入った状態で、POWER ON/OFF/MUTE スイッチを一度押すと、オーディオ出力がミュートされます。再度押すとミュートが解除されます。ミュート時は赤色の LED が点灯します。

■ TUNER&BOOSTER

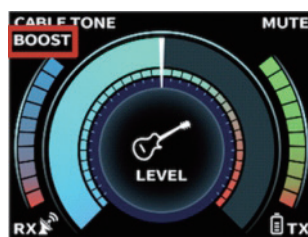
RX のフットスイッチを押すことで、チューナーまたはブースターを ON/OFF することができます。また、フットスイッチを長押しすることでチューナーまたはブースターのデフォルトに設定されていない機能を ON/OFF することができます。

この設定は SETTING>SWITCH から変更することが可能です。

チューナー ON



ブースター ON



TX の充電

TX(トランスミッター) には 2 つの充電方法があります。

■ RX を使用して充電する

RX の電源を入れ、TX を RX の充電ポジション (ディスプレイ上) に置きます。
TX の LED が点灯したら充電が開始された合図です。



■ 付属の USB ケーブルを使用して充電する

5V/500mA 以上を給電可能な USB アダプターをご用意いただき、付属の USB ケーブルを接続してください。

TX の USB-C ポートに USB ケーブルを接続し、TX の LED が点灯したら充電が開始された合図です。



■ TX のバッテリーステータス

TX の使用時、TX の LED はバッテリーステータスを表示します。

- 緑色 (点灯) : バッテリー残量 > 75%
- 橙色 (点灯) : $75\% \geq$ バッテリー残量 > 50%
- 赤色 (点灯) : $50\% \geq$ バッテリー残量 > 15%
- 赤色 (点滅) : $15\% \geq$ バッテリー残量 > 0%

故障かなと思ったら

B-8 ワイヤレスシステムの使用中に干渉やドロップアウトが発生した場合は、以下の方法をお試しください。

- ・ 周囲に Wi-Fi 機器があるかどうかを確認し、B-8 の TRANSMITTING を "low latency" と "stable" の間の最適な位置に設定してください。
- ・ TX が十分に充電され、電源が入っていることを確認してください。
- ・ TX と RX 間の見通し線上に大きな物体がないことを確認してください。
- ・ TX と RX 間の距離を短くしてみてください。例えば、ステージ上で B-8 ワイヤレスシステムを使用する場合、RX をステージ上の TX の近くに置き、長いケーブルでミキサーやアンプに接続することで改善する場合などがあります。
- ・ B-8 ワイヤレスシステムを 2 セット以上使用する場合は、2 セットの TX と RX をそれぞれ 1m 以上離してください。
- ・ RX は、Wi-Fi アクセスポイント、コンピューター、Bluetooth デバイス、その他の有効になっている 2.4GHz 帯デバイスから遠ざけてください。
- ・ 使用していないコンピュータ、携帯電話、その他のポータブルデバイスの Wi-Fi 設定は無効にしてください。
- ・ B-8 の使用中は大容量ファイルのダウンロードや映画の視聴など、Wi-Fi 使用量の多い行為は避けてください。
- ・ TX と RX を、金属やその他の高密度の物質が存在する可能性のある場所に設置しないでください。
- ・ サウンドチェックの際、電波干渉が発生しやすい箇所などを事前に把握し、他の演者などにその場所を避けるよう依頼してください。
- ・ 最もパフォーマンスを発揮できる電波距離は 10 ～ 35m の間です。
- ・ 最適な使用方向は下図をご参照ください。RX と TX はプレイヤーの体によって遮られないようにしてください。

より詳しい情報や使用方法については以下の日本語マニュアルをご参考ください。